



発行／公益社団法人 昭島市シルバー人材センター 編集／広報委員会



作 前島秀朗会員

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 ホームページ：http://www.akishima-sc.or.jp/

会員数	男性	女性	合計
(平成29年3月22日現在)	802人	291人	1,093人

第7回定時総会 開催のお知らせ



日時 6月16日(金) 午後2時

場所 KOTORIホール
(昭島市民会館) 大ホール

会員皆様の参加が次なる飛躍への原動力となります!!
より多くの方の出席をお待ちします

平成28年度第2回

理事・地域班長全体会議 開催

平成29年3月8日、勤労商工市民センターにおいて理事・地域班長全体会議が開催されました。地域班長43名、理事18名が出席して、糟谷理事の司会で進められました。

○**全体会議開催に際し**

伊藤会長より、地域班長各位の活躍に対するお礼、センターの事業実績、新たな派遣事業への取り組みなどの説明がありました。

○**昭島市シルバー人材センターの現況**

光富常務理事より、会員増強策や就業機会増強策、および事業実績についての詳細報告がありました。

各役員挨拶概要

●**奥山総務部会長**

会員表彰検討の進捗状況説明の後、派遣事業について、4月1日より当センター内に開設する「昭島派遣事業所」の説明があり、今後の就業拡大への寄与が期待されるとの報告がありました。



した。さらに「第二次中期計画」策定が報告され、計画達成に向けて全会員が結束するように呼びかけられました。

●**奥村事業部会長**

就業拡大のための情報収集に、企業訪問等を実施したことが報告されました。次に、生活支援サービス事業は、家事援助班を中心に取り組んでいくとの説明がありました。また、「シルバー人材センター」の認知度を上げるため、ボランティア活動を盛り上げる決意が示されました。

●**戸田安全管理委員長**

安全就業はシルバー人材センターにとって最も重要な課題の一つ、と前置きがあり、就業するにあたり「安全はすべてに優先する」をモットーに、常に「事故ゼロ」を目標に対応策を講じていくとの強い決意が述べられました。そのため、より緻密な会議を積み重ねたことを強調されました。

●**岡広報委員長**

会報いずみ、当センターPR誌の発行等々、当センターの広報活動およびインターネット・ホームページの充実をこれまで以上に図っていくとの説明がありました。是非会員の皆さんには閲覧をお願いしたいと切実に語られました。

各挨拶に続き、意見交換が行われ、中身の濃い質疑が交わされました。



役員研修会

シルバー事業に関わる非行防止

理事・地域班長全体会議後に、同会場で役員研修会が開催され、理事・監事、地域班長・職群班長・会員コーディネーター等、68名が出席いたしました。テーマは「シルバー事業に関わる非行防止」で、奥山総務部会長の司会・開会のあいさつで始まりました。

講師には、昨年同様に（公財）東京しごと財団の檜垣直人顧問弁護士をお招きし、第一に会員の責任についての説明がありました。契約に基づいた就業が重要であり、自分ルールをつくる、自分ルールで理解する、このことこそがシルバーの非行であるとのこと指摘が印象的でした。

第二に、実際にあった事例を具体的に提示し、工夫された分かり易い非行の説明がなされ、光富常務理事の閉会のあいさつで、2時間の研修を終了いたしました。



シルバー会員にとって非行防止とは？

非行とは？…一般的に、違法行為、あるいは違法ではなくても、習慣的規範に照らして反社会的とみなされる行為のことをいいます。

例えば、センターや発注者が用意した作業道員を私用のため無断で持ち帰ること等が該当します。

○会員の責任

シルバー会員は皆「個人事業主」であり、センターと会員との就業契約に基づき仕事をしています。会員によっては就業契約と異なる「自分ルール」を勝手に作り、就業契約と反する業務を行っていることがあります。決められた就業時間を守らない、等もこれに当たります。就業契約通りに仕事を行わなければ契約を終了されてもおかしくありません。

シルバー人材センターの名称には、「昭島市」と入っているため、会員は市民から「昭島市の職員」と認識されます。そのため、きちんとした対応や態度が必要になります。また、個人情報保護やセクハラ・パワハラ等の適切な理解も必要です。会員の非行行為によって自分のみならず、仲間も仕事がなくなってしまうことがあります。お互いに声掛けを行い、非行防止に努めましょう。

昭島市民活動&ボランティアフェスティバル
2016に初めて参加

事業部会員 光富 宏規

平成29年2月4日、昭和の森アウトドアヴィレッジ屋内広場で開催された昭島市民活動「見本市」に初めて参加しました。

この見本市は、ボランティア活動をしている人と、これから始めたい人を繋げる目的で、主催・昭島市ボランティアセンター、後援・昭島市で開催されました。

センターの重要な活動の一つである「社会貢献」の意味を踏まえて、事業部会を中心にパトロールボランティア（以下パト・ボラ）実行委員会、家事援助班の理解と協力を得て参加することができました。

ボランティア活動の内容を紹介するブースで、家事援助班による「昔あそび」の実演や、パト・ボラ実行委員会は帽子、ベスト、腕章を着用して、来場者へ仕事内容をパネルで紹介したり、会員募集のマスクを配布しました。

見本市は大盛況で、センターの活動を行政・社会福祉協議会・市民の皆さまに大いに宣伝することができました。



第三次中期計画が策定されました

平成19年に策定された「第二次中・長期計画」は、平成28年度で終了いたしました。これに先駆けて、「第三次中期計画」の策定に取りかかりました。昨年4月より、総務部会で検討し、事業部会、安全管理委員会などでも原案を練り上げ、さらに理事会での協議を続けてきました。

これを広報委員会がA4版本文30ページの冊子への編集、編纂を2月中に完了。印刷作業を経て、平成28年度中（29年3月中）に、地域班長の協力をいただき会員への配布を完了しました。

計画の実施期間は、平成29～33年度（2017年4月1日～2022年3月31日）まで。スローガンは「地域で活かそう シルバーパワー」となっています。



シルバー派遣事業が可能に

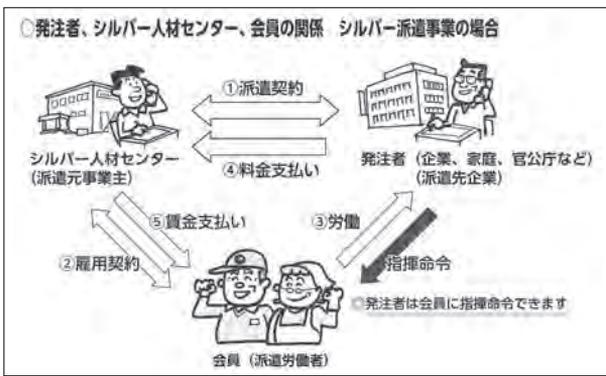
総務部会長 奥山 毅

シルバー派遣事業開始に向けて「昭島派遣事業所」開設の届出が、平成28年12月2日に東京労働局に受理されました。これによって昭島市シルバー人材センターは、4月1日からシルバー派遣事業ができるようになりました。

これまでは、発注者の指揮・命令を受けなければできない仕事や、発注者の従業員と混在する仕事などは契約できませんでしたが、発注者とシルバー派遣として契約依頼することにより可能になります。

今後、派遣事業としてご依頼を頂ければ、派遣元事業主である東京しごと財団と協議し、取り組んでまいります。

また、シルバー派遣事業のご依頼があった時には会員説明会を開催していく予定です。ご理解とご協力をお願いします。



パトロールボランティア（パト・ボラ）

活動報告 拝島中学校編

パト・ボラ実行委員会 渡辺 靖男
 拝島中学校地区のパト・ボラは拝島中学校に隣接した公園（緑ヶ丘公園）に集合し、児童・生徒の下校時や通学路の見守りを行います。

中学生は小学生と違い、急に大人びてくる子、よそよそしくも礼儀正しくなる子、また素っ気なくなる子等いますが、子どもたちの成長の過程に接する機会も楽しんでいます。時々「おじさんたち、毎日みんな同じ格好で、何をしてるの?」「君たちから、元気をもらいに来てるんだよ」と、こんな微笑ましいやり取りもあります。

現在、就業していない会員、もう就業は無理という会員も活動に参加していた。だくことにより、子どもたちの見守りをしながら、お互いの親睦を図っています。

パト・ボラをきっかけに、こうした仲間を増やしていきたいものですね。



理事会だより

12月定例理事会（12月26日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性5名女性2名計7名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について32件延53名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 総務部会より、勤労商工市民センターで行われる平成28年度第2回理事・地域班長全体会議の日程につき、3案の提案がありました。諸状況を勘案して検討した結果、平成29年3月8日の実施となりました。
- ・ 事業部会より「生活支援サービス事業」について、平成28年11月30日の東村山市シルバー人材センター視察の報告がありました。

1月臨時理事会（1月11日）

協議事項

- ・ 「第三次中期計画（案）」の内容を協議しました。

1月定例理事会（1月30日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性5名女性1名計6名の入会が承認されました。
- ・ 就業基準に基づく再契約について27件延44名の再契約が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 各関連部会、委員会の修正案等をまとめた「第三次中期計画」が提出されました。目標数値についての疑義があり、時間をかけ丁寧に解決し、広報委員会による冊子編纂作業の開始が承認されました。

- ・ 事業部会より平成28年度の接遇研修実施要項の発表がありました。2月13、14、15、20、21、22の6日間、各午前午後12回の実施予定と報告されました。

2月定例理事会（2月27日）

議決事項

- ・ 会員の入会承認について、男性6名女性0名計6名の入会が承認されました。

報告事項より一部抜粋

- ・ 広報委員会より「第三次中期計画」冊子案が提出され、内容を確認しました。
- ・ 会員増強検討委員会より、センターの外壁に、「会員募集中」の看板を取り付けたことが報告されました。



平成29年度年度会費等の

納入のお願い

4月、5月に2,800円を超える就業実績のある方は、配分金から年度会費等（2,800円）を控除させていただきますので、ご了承願います。なお、配分金が2,800円以下の方は、もしくは仕事をしていない方は、6月中に年度会費等の納入通知書を郵送いたしますので、その納入通知書を持って、コンビニもしくはセンター事務局で年度会費等の納入をお願いします。

安全就業標語

テーマ 「転倒・墜落・転落防止」

平成29年度東京しごと財団の安全就業標語募集には、応募者25名から59作品が寄せられました。安全管理委員会以下の3作品を選出し、東京しごと財団へ推薦しました。

足元の 安全確保で 転倒防止

朝日町 小柳 幸男

事故防止 心に転ばぬ 先の杖

つつじが丘 唐沢 公夫

ヒヤリ・ハットで 済んだのは

着けた・止めた安全帯

拜島町 岡本 正夫

職場訪問

書類交換業務

最大の活動範囲を

自転車で一週

シルバー人材センターの仕事は、市役所などの公的機関からの依頼分が60%を超えています。就業人員の多い駐輪場管理や学校管理、広報配布などがその代表例でしょう。

しかしなかには、就業人員が2名という仕事もあります。今回訪ねた仕事場もそのひとつ。仕事の名称は「書類交換業務」と称するもので、市民課から発注されています。

どんな仕事なのか？

市民課といえば…転入、転出、転居などの届け出。住民票の写し、住民票記載事項証明書の発行、印鑑の登録、印鑑登録証明書、戸籍関係証明書の発行。さらに税関係の証明書などの、発



三浦会員(左)、大森会員(右)。

行サービスを行う課です。

証明書を受け取ることができるところは、保健福祉センター(あいぼっく)、東部出張所、武蔵野会館、環境コミュニケーションセンター、緑会館の5カ所です。このサービスを利用し、重宝している市民は少なくありません。

雨の日も雪でも台風でも

発行される書類は、FAXやインターネットで市役所から送られてきますが、受信する用紙が必要になります。また、様々な保存書類も用意されていて、これは市民課へ戻され一定期間保存されます。

サービスの円滑な運用のためには、こうした書類を運ばなければなりません。

「サービスを停滞させないためには、用紙の補給や保存書類の運搬は毎日必要になります。年末年始、土日祝日を除いて休まず行う仕事になります」と市民部市民課の細田係長。それで、この仕事は信頼と実績のあるシルバー人材センターに発注されているのです。ただし郵便法の関係で、信書は取り扱えませんので、宛名のない書

類に限られています。

現在、この仕事に就業しているのは、大森淑子会員と三浦武男会員の2名。

「いまは水々金曜の3日間を担当しています」と大森会員。全部で5カ所の出張所や会館等を自転車でもわって届けています。午前8時30分に市民課へ出向き、運ぶ書類の入ったカバンを2個受け取ってスタート。

前述の順番で、5カ所をまわります。交通手段は自転車。一周して市民課へ戻ると、通常で10時30分になるそうです。

「あくまでもスムーズにまわれた時の時間ですけどね。滅多にないとはいえ、台風や雪の場合は自転車を引いてまわるので、所要時間は増えます」ともうひとりの三浦会員。月々火曜の2日間を担当しています。

コンビの息ピッタリ

ローテーション就業は、病気や休養の際の交代や助け合いが大切。その点、大森会員、三浦会員の息はピッタリだとか。そんな2人が声を合わせるの、5カ所まわるのはいいとして、その活動範

囲の広さについて。

おそらく自転車でもわる仕事現場としては、シルバーなのは間違いなさそう。コースについて、順路を考慮したコース変更を実施していただいたことも。「コース変更についてなどは、今後も前向きに検討させて頂きます」と板野主任。

「取材の記念にお写真を」とお願いしたところ、橋本市民課長も加わっての一枚を撮ることができました。

(広報委員 岡 裕美)

市役所スタッフと取材の記念に。
左から、細田係長、三浦会員、大森会員、板野主任、橋本市民課長

事務局よりお知らせ

家事援助班の調理実習

2月17日、「あいぼっく」にて、家事援助班の調理実習が行われました。今回は用意されていた食材をみて、各班ごとに献立を決め料理開始です。



日頃の成果が、手際によさはパツグンで、限られた時間内で利用者にも喜ばれそうな料理ができあがりしました。美味しい料理を試食しながら、会員同士の情報交換もでき、親睦も図る事ができました。

春の接遇研修

春一番が吹くなか2月13～15日と20～22日の各午前午後接遇研修が実施されました。今回は、

自転車管理・学校管理他、総数325名の会員が参加しました。

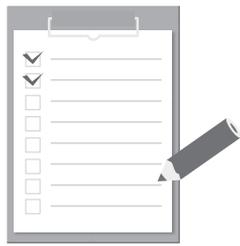
講師に宮澤氏・唐澤氏を招き「接遇の基本」を主に「顔の表情、挨拶、丁寧な言葉、苦情対応、身だしなみ」などの講義と具体例の説明が行われ、今後の就業に活かされる研修となりました。



アンケートのお礼

前号（会報いずみ156号）と一緒に配布した、いずみの感想やご意見をお寄せいただいたアンケートは、おかげさまで98名の会員の皆様からご回答があり、大変貴重なご意見をいただくことができました。

誠にありがとうございます。皆様から寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の「会報いずみ」の参考とさせていただきます。この度はアンケートへのご協力ありがとうございました。



編集後記

今年2号目の「会報いずみ」をお届け致します。

この冬は例年ほど寒くないと感じておりましたが、それでも一番好きな時節、春到来で、気持ちも暖かくなっています。しかし、今後の梅雨、夏を考えると、気候の変化に追いついていくなってきた身としては、ちょっと憂鬱です。そこで、健康に過ごす心掛けを二つご紹介いたします。

家康、秀忠、家光3代にわたるブレンで、100歳超えの長命（108歳?）、天台宗の僧、南光坊天海（明智光秀との説もある）の長生きの秘訣です。『氣は長く、務めはかたく、色薄く、食細うして、心広かれ。』

もう一つ、米国の詩人（実業家）、サミュエル・ウルマン「青春」より抜粋。『年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。』

解釈はお任せですが、平らに生きて、理想を求めて、現役を続けましょう。

（広報委員 二浦武男）



「就業相談の日」
毎月第1火曜日
◇9:30～11:30
センター事務所 2階
※担当理事が相談をお受けします



安全管理委員
会の安全巡回点
検。しっかりヘル
メットを着用



多くの班長が出席した平成28年度第2回理事・地域班長全体会議



家事援助班「調理実習」



「昭島市民活動&ボランティアフェスティバル2016」に初参加



植木班による松の手入れの自主研修



生活支援サービス講習を受講する
家事援助会員ほか



たくさんの新入会員をご紹介して 頂きありがとうございました！

平成28年度は多くのご紹介を頂きまして、誠にありがとうございました。
平成29年度も引き続きご紹介して頂いた会員の方には粗品をプレゼントいたします。
友人・知人の方をぜひご紹介ください。
入会受付時に紹介した会員の氏名を書いていただきますので、必ずご記入するように
お伝えください。

28年度安全就業標語 テーマ：加齢による事故の防止策

老いを知り 急がずあわてず ゆっくりと